

# 週間市場レポート (2021年8月9日~8月13日)

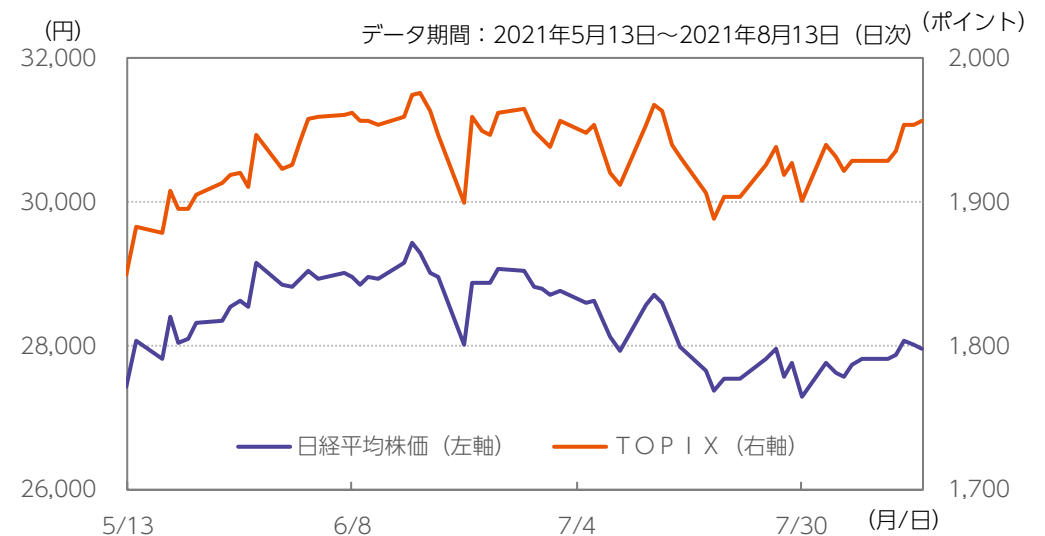
## 1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2021/8/6	先週末 2021/8/13	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		27,820.04	27,977.15	0.56
TOPIX (東証株価指数)		1,929.34	1,956.39	1.40
ダウ工業株30種平均 (ドル)		35,208.51	35,515.38	0.87
S & P500種指数		4,436.52	4,468.00	0.71
ナスダック総合指数		14,835.76	14,822.90	▲0.09
ユーロ・ストックス50指数		4,174.54	4,229.70	1.32
S & P/ASX300指数		7,531.47	7,622.07	1.20
上海総合指数		3,458.23	3,516.30	1.68
MSCI AC アジア (除く日本)*		1,011.13	1,002.46	▲0.86
東証REIT指数		2,151.28	2,140.50	▲0.50
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		893.40	891.81	▲0.18
ASX300 REIT 指数		1,601.00	1,588.80	▲0.76
グローバルREIT (除く日本)*		211.22	210.78	▲0.21
日本10年国債 (%)		0.015	0.031	0.016
米国10年国債 (%)		1.297	1.277	▲0.020
ドイツ10年国債 (%)		▲0.456	▲0.467	▲0.011
英国10年国債 (%)		0.611	0.573	▲0.038
ドル/円		110.25	109.59	▲0.60
ユーロ/円		129.70	129.30	▲0.31
英ポンド/円		152.95	151.98	▲0.64
豪ドル/円		81.08	80.80	▲0.35
フィラデルフィア半導体指数		3,412.05	3,335.04	▲2.26
WTI原油先物 (ドル)		68.28	68.44	0.23
CRB指数		214.49	216.96	1.15

## 2) 日本の株式・債券市場

### ≪ 株式 ≫

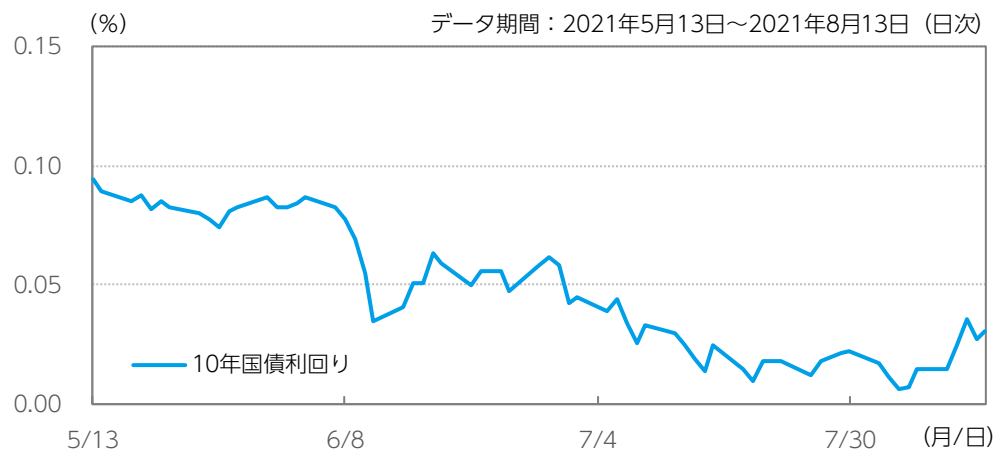
日本株式市場 (日経平均株価) は、前週末比で小幅に上昇となりました。主要企業の決算発表を受け、好業績の銘柄を中心に買いが入り、前週から11日 (水) まで4日続伸しました。週末にかけては、国内の主要企業の決算発表がほぼ一巡し、新規の材料を欠かなか持ち高調整の売りに押され小幅に下落となりました。国内の新型コロナウイルスの新規感染者数が急増していることも、株価の上値を押さえる要因となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成  
 ※現地通貨ベース \* ▲はマイナスを表します。

≪ 債券 ≫

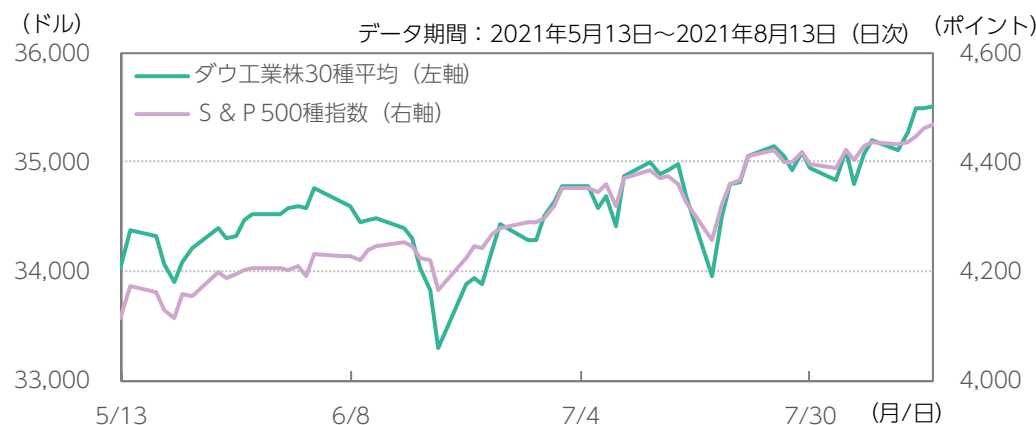
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇となりました。米国の雇用環境の改善で、米金融当局が量的金融緩和の縮小を進めやすくなるとの見方から米長期金利が上昇した流れを受け上昇しました。米消費者物価指数を受け、過度なインフレ懸念が後退すると、米長期金利の低下と歩調を合わせ国内金利も低下する場面もあったものの、週間では上昇となりました



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

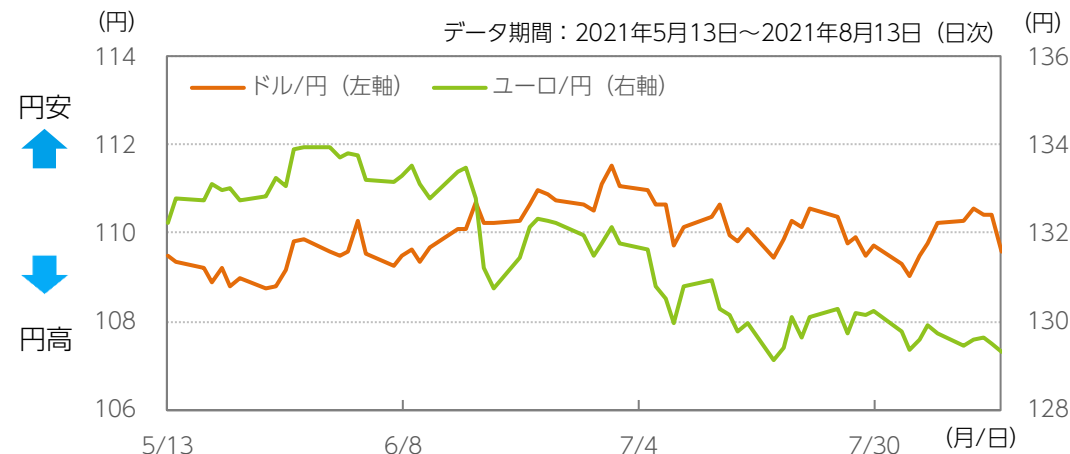
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で小幅に上昇となりました。デルタ型による感染拡大懸念から、上値が重くなる場面もあったものの、1兆米ドル規模のインフラ投資法案が議会上院で可決したことや、消費者物価指数がほぼ市場予想通りとなり過度なインフレ懸念が和らいだことなどから買い安心感が広がり、週末のNYダウの終値は史上最高値を更新しました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。米雇用情勢の改善を受け、経済活動の正常化期待の高まりから米長期金利が上昇すると、日米金利差を意識した円売り米ドル買いが優勢となりました。ミシガン大学消費者信頼感指数が市場予想を大きく下回ると、米国の景気回復が遅れるとの見方から、週末にかけて円買い米ドル売りが進みました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、引き続きデルタ型による感染拡大懸念が重荷となるも、国内企業の好決算や米インフラ投資法案の上院での可決が好感され、日米両市場ともに上昇しました。

米議会上院において、1兆米ドル規模のインフラ投資法案が可決されました。今後は、3.5兆米ドル規模の気候変動対策や子育て支援に重点が置かれた予算案も審議が開始される予定であり、さらなる回復に期待が高まるものの、気候変動対応について民主党内でも温度差があることや財源確保のための増税に対し反対意見も多く、予算案成立まで難航が予想されています。

今週の国内株式市場は、国内の企業決算の一巡で新規の材料難から、小動きとなりそうです。米国株式市場は、大規模な財政出動への期待などから堅調な推移を予想します。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>